

○議長（堀江 政武君） 市長。

○市長（比田勝尚喜君） 冒頭の答弁の中でも申し上げましたように、今現在、対馬市におきましては、この障害者就業生活支援センターに変わるものとしたしまして、就労支援部会を立ち上げる準備をして、関係機関と協議を重ねているということでございますので、ここら辺をもう少し、私自身も勉強しながら、そのような方向に進みたいというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 黒田昭雄君。

○議員（7番 黒田 昭雄君） しっかり、これも研究をしていただきたいと思います。

今、国境離島新法で、船のほうがJR並み、飛行機のほうが新幹線並みと言われております。今の熊本のお話をしましたけれども、これが将来、九州で2つだけなんですけれども、将来、これが福岡にできれば、私はある意味、今は月1、週1のハードルは高うございますけれども、これが福岡にできれば、何のことはないかなと思っておりますので、これについては福祉環境を広域という考えはわかりませんが、今、この前、市長のほうは観光で手を結ばれましたけれども、ぜひ福祉関係もどういう形になるかわかりませんが、広域の考えもぜひ研究していただきたいと思っております。これについては答弁は要りません。

以上、3点を申し上げましたけれども、一番最初の地域マネージャー制度につきましては、私の本音は、続けていってほしいなと思っております。しかしながら、時もある意味お金ですから、ここまで制度を確立できないというのはいかがなものかなと私は思っております。これも比田勝市長の最初の課題だと思っております。これからの改革を期待しまして、これで市政一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで、黒田昭雄君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 昼食休憩とします。再開は午後1時からとします。

午前11時52分休憩

午後1時00分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

報告します。渕上清議員より、早退の届け出がっております。

一般質問を行います。14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） 皆さん、こんにちは。会派・新生会の初村久藏でございます。

今日の日本列島は、熊本の地方の大震災、また、東北・北海道の大雨災害等、起こっております。お亡くなりになりました方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました皆様にお見舞いを申し上げます。

対馬市といたしましても、いつ災害に見舞われるかわかりません。昨年の50年に一度の大雨被害のように、今日いつ起こるかはわかりませんので、万全を期して災害に強いまちづくりに務められたいと思います。

それでは、通告に従いまして、市政一般質問を行います。

主に3点について順を追って質問をいたしますので、よろしく願いをいたします。

1点目、いづはら病院跡利用について。

現在、いづはら病院跡には、いづはら診療所が本年6月に開院し、また、行政の一部の健康づくり推進部が入居され、2機関で市民の健康、福祉に活用されています。今後、特別老人ホームが施設の一部を改修して、平成29年度中に開設予定であるとお聞きをしています。何しろ大きな広い土地と建物であり、空きスペースがまだ十分あると思われます。有効利用するためにも、市長の公約でもあります漁火の湯の温泉を利用した温浴施設と運動施設を今後どのように進められるか、計画と見通しについてお伺いをいたします。

2点目の対馬市の道路網について。

国道382号線は、比田勝港より厳原港まで、現在、延長86.5キロと、昔と比べたら大分短縮をされ、毎年度予算づけされ、改良されていますが、今でも急カーブで幅員も狭く、未整備区間も多くあります。県道は、主要地方道6路線と一般県道9路線の実延長203.5キロ、毎年度箇所づけはされ、改良はされていますが、いまだ交通不能区間があります。市道は、1級、2級、その他の路線で1,556路線、約823キロと聞いております。毎年、重要路線については、整備改良をされていますが、予算が伴う事業であり厳しいとは思いますが、国道・市道とあわせ、県・国に強力に要望・陳情活動進めるべきと思いますが、市長のお考えをお伺いいたします。

3点目、対馬しいたけについて。

対馬しいたけ補助制度には、平成18年度より、ほだ場整備散水施設、種駒補助金等、国・県・市の支援により、生産者も頑張ってきたところですが、10年経過しますと生産者も高齢化が進み、60歳以上が84%と高い比率であります。現在の種駒補助制度は、しいたけ部会加入者を限定して、植菌数4万個以上1円、10万個以上1.5円の市の補助があり、今から先、高齢者が4万個以上の植菌をするにはかなり難しいと思われます。これを下限1万個以上と改められないかお伺いをいたします。

それとあわせて、農家と就業者も高齢者が多く、数年前は市の補助で農作業等支援制度で農援隊制度があり、現在は農協単独で上地区、下地区で2名雇用して農家に支援をしています。市としても、農協に補助支援して、数名増員して農家の支援はできないかお伺いをいたします。

私の質問はこれで終わりますが、市長の明解な答弁を求めます。また、一問一答で後はお願い

をしたいと思います。よろしく申し上げます。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 初村議員の御質問にお答えいたします。

まず、1点目の御質問についてでございますが、3月の市長選挙の折、選挙公約として、旧いづはら病院跡に漁火公園の温泉源泉を利用した小規模な温浴施設と運動施設を整備することを市民にお約束をしたところでございます。選挙公約実現に向けて、職員には早急に対応策をとるよう指示を示しているところでありまして、関係部署を集め、協議を行ったところでもあります。結果といたしまして、温浴施設を含め、今後の高齢者の健康づくりを推進するための拠点施設の整備方針と旧対馬いづはら病院跡をいかに利活用すべきか再度見直し、基本計画を策定することとなり、物事を進めているところでございます。

今後の予定といたしましては、基本計画を来年2月末までに策定し、その後、実施設計を行い、整備を行うこととしておりますが、できる限り早急な施設完成に向けて努めてまいりたいと考えております。

なお、旧対馬いづはら病院に整備予定であります特別養護老人ホームは、来年4月から運営開始に向けて整備が推進されているようであります。市が計画しようとしております温浴施設等も、同建物に整備する予定でありますので、整備がおくれることから、特老ホームの運営に支障のないよう、十分配慮して事業計画を立てていきたいというふうに考えております。

次に、2点目の対馬市の道路網の整備についてでございますが、島内の国道・県道につきましては、国道1路線、主要地方道6路線、一般県道9路線の計16の路線がございます。平成27年4月1日現在の島内の国県道の改良率は、国道が97%、主要地方道が67%、一般県道が70%となっております。平成28年度の主な道路改良事業といたしましては、国道382号線が上県町の大地工区、檜滝工区、美津島町の畠ヶ浦工区、主要地方道が巖原豆殿美津島線の吹崎工区、尾浦安神工区、一般県道が比田勝港線の西泊工区を実施予定と伺っております。

また、交通安全施設事業といたしましては、国道382号の中村工区のほか、3路線の整備が予定されております。

対馬振興局の今後の整備計画につきましては、まず、現在着手している区間の早期完成を目指しているところと聞いております。現在着手している箇所では、一番の大型事業であります大地工区の完成が平成29年度を予定しており、その後の新規着工路線につきましては、交通量や費用対効果を考慮し、幹線道路、縦貫道路を優先的に整備していく計画と伺っております。

市といたしましても、県の整備計画の方向性を踏まえながら、議会にも、国県道路等整備促進特別委員会がございますので、未整備箇所の優先順位等を含め、御検討をいただければと思っております。

次に、市道の整備状況でございますが、今年度は、道路改良事業が市道久田日掛線、尾浦浅藻線、内山2号線、堂坂線、仁田志多留線、鰐浦落土線の6路線を整備することとしております。そのほか、道路防災事業で、市道津柳女連線ほか5路線の整備を行います。このうち、3路線につきましては、平成29年度完成を目指して整備を進めているところでございます。

今後の整備につきまして、市道尾浦浅藻線と市道堂坂線でトンネルを計画しておりますので、トンネル区間の施工の際は、この路線に集中して投資できるよう、その他の路線の早期完成を図り、整備を進めてまいりたいと考えております。

次に、3点目の対馬しいたけの補助制度についてでございますが、しいたけ種駒補助と施設整備に伴う森林・林業再生基盤づくり交付金がございます。しいたけ種駒補助につきましては、種駒数4万個から10万個に対して1駒当たり1円、10万個以上につきましては1.5円を補助しているところでございます。また、森林・林業再生基盤づくり交付金につきましては、5個以上で構成される協業体の施設整備に対して補助するものでございます。

議員御質問の種駒補助金につきましては、平成18年に、それまで一律1.5円を補助しておりましたが、生産者の意欲をかき立て、生産量の拡大を図るため、2万個以上を補助の対象とし、さらに、平成23年には、4万個以上を補助の対象とするなど、底上げを図ってきたところでございます。4万個未満の生産者にも補助できないかとの御質問でございますが、しいたけをなりわいとしていない小規模な生産者にまで補助するのは、生産量の拡大としての効果が薄いと思われまますので、今後の高齢化を考慮したとき、どこまでその補助をすべきか、今後の課題として検討を重ねてまいりたいというふうに考えております。

それと、通告外の件で1点、農援隊について質問がございました。農家の高齢化と労働力不足による支援策として、農協におきましては、平成21年からの3カ年間、ふるさと雇用という国の補助を受けて6名の雇用を行っております。また、平成24年度からは、農協独自で2名の雇用を行い、農家の支援を行っているところでございます。市の支援策としましては、議員さんからも御指摘がありましたように、平成24年度から3カ年間で、「対馬(しま)野菜、対馬(しま)で食べて元気回復事業」を農協と協議の上、立ち上げ、農家の負担を求めながら、3年後に収支計画が成り立つ仕組みづくりに取り組んだところでございます。具体的には、農援隊として2名、生産者からの農産物の集荷や、給食センターや農協直売所への配送に4名、しいたけの選別に4名、直売所での従事者として8名を雇用し、生産者から販売まで網羅した取り組みを行い、農家所得の向上と雇用の確保に努めてきたところでございます。直接的な支援は、他の産業との兼ね合いもあり、難しい問題ではございますが、国や県の補助事業があれば、検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） それでは、一問一答でお願いをしたいと思います。

まず、いづはら病院跡利用につきましては、ただいま市長のほうから報告ありましたけど、高齢者も、対馬市は今65歳以上が約34%ですかね、約1万人強おられます。そのうちに、やっぱり特老、いろいろなそういう施設に入ってる人たちが今は700人から800人、デイサービス合わせたらやがてもう1,000人に近い数の人たちが通所をされております。その関係で、旧いづはら病院跡に福祉施設ができて、あそこに50名と40名のデイサービスの施設ができるということで、幾らか大分緩和できるかなと思いますけど、まだ待機者が300人近く、それが重複してる面もありますけど、実数はわかりませんが、そのような数字であると聞いております。その関係で、それは幾らか、50と40ができたなら幾らかカバーされるかなと思いますので、それはそれとして、ぜひ来年の4月ということでございますので、早急にこれも計画どおりに進めていってほしいと思います。

それとですね、温浴施設の件でございますけど、確かに、それはもう今ある漁火の湯は、足湯だけでもったいないような状況でございます。それを利用して、市長が決断をしてやるということでございますので、大変、厳原にしろ、美津島地区にしろ、近くの人たちはそこに行って、健康施設ですね、健康ランドみたいなこと一緒に温泉に入って、そういうような運動をして元気になれば、それで対馬の医療費も抑えられると思いますので、ぜひそれはつくってほしいと思います。

それとあわせて、今、市長、旧いづはら病院は大変広い建物で、まだそれでも空きスペースがいっぱいあると思いますので、今は、さきほどのリオオリンピックで卓球、テニス等、日本はいい成績を残しております。その関係で、卓球スペースとか、テニススペースぐらいができる施設はできんかなと思います。それと運動、ジムですね、ある程度の機器を置いてジムをつくるとか、それは金がかかると思いますけど、将来の子供から年寄りまでの施設として、そこが有効利用できるような方向に何とかしてやったらどうかと、私はそう思いますけど、市長の考えをちょっとお伺いしたいと思います。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） いづはら病院跡地の利用の件でございますけども、初村議員さんもおっしゃってられますように、私も、足湯の源泉をこのいづはら病院跡に引っ張って、ここで温浴施設と運動施設を整備したいということをかねがね申しております。このことにつきましては、約ですね、今、1階の半分近くを特別養護老人ホームのほうに行きますので、あと残りのところをできる限り有効利用を図りたいという思いで、この病院跡地の改修基本計画をこの9月13日に入札に付す予定としております。そして、この計画の策定を2月末ぐらいまでに終えて、その

後、検討を重ねて整備にかかりたいというふうに考えております。その中には、もちろん温浴施設、そしてまた、運動施設等も考えておりますけども、今、議員さんおっしゃられるテニスとか、そこら辺まで入るかどうかは、まだ今のところはっきりわかりませんので、まず検討を重ねていきたいというふうに思います。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） わかりました。そしたら、温浴施設と健康施設は、9月までに基本計画ということでいいですか。

○市長（比田勝尚喜君） いや、2月末。

○議員（14番 初村 久藏君） 2月末までに設計。

○市長（比田勝尚喜君） 計画ができます。

○議員（14番 初村 久藏君） 計画か。基本計画がですね。わかりました。

それは大変、巖原、市民も、とってもいい施設ができると思っております。ぜひその計画で進めてもらいたいと思いますけど。

それと、やっぱり今あそこに、特老と、今は診療所もできましたが、健康づくり推進部もですかね、そこも入っておりますので、あそこがちょっとにぎわうような格好になれば、巖原の活気も少しは出るかなというような気持ちも持っておりますので、ぜひ、来年の2月までに設計できれば早目に、市長の任期は一応4年でございますので、もう半年以上は過ぎました。あともう3年半でございますので、市長の1期目の任期中には、ぜひできるような方法でこの計画を進めてもらいたいと思います。よろしく申し上げます。それで何かあれば。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 今おっしゃられるように、この病院跡地をみんなが、市民の皆さんが集う場として、そしてまた、健康増進の場として利用したいと思っておりますので、それに向けて一生懸命頑張ってまいりたいというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） どうもありがとうございます。ぜひお願いをしておきます。

それと、道路網の整備でございますけど、現在、国道も、昔から比べたら、巖原から比田勝まで行くにも、約30分近く短縮されたと思います。確かに、もう改良はされてきておりますけれども、まだまだですね。それは一遍には事業はできませんけんが、それはもう私もわかっております。それは随時、早くできるように、やっぱり国・県に働きかけんで黙っとったんじゃ、やっぱりできんと思いますので、強くそこは要望をしながら、今後早目に、もう1年でも早く。もう国道になってから、昭和50年ですけんがもう40年過ぎましたかね。なると思います。早目に貫通ができるように、国のほうに働きかけをばお願いをしてもらいたいと思います。どうですか、

市長、その問題について。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） このことにつきましては、議会の国道等整備特別委員会の皆様と力を合わせながら、国・県のほうへ働きかけを行ってまいりたいというふうに思います。対馬市民がどの地域からも対馬空港まで60分という構想を総合計画の中でも掲げておりますので、これに向かつて邁進してまいりたいというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） ありがとうございます。そしたら、国道の件は、もうこれで終わりたいと思いますけど、県道ですね。県道は、私、主要地方道が6路線と一般県道が9路線とありますが、市長のあれでは16路線になっとるけど。

○市長（比田勝尚喜君） 国道が1路線です。

○議員（14番 初村 久藏君） ああ、そうですか。はい、わかりました。県道は15路線でいいですね。

○市長（比田勝尚喜君） はい。

○議員（14番 初村 久藏君） はい。

その県道の件ですけど、15路線ある中で、交通不能区間があるわけですか。それはもう市長も御存じだと思いますけど、主要地方道で厳原豆敷美津島線が約不能区間が1,578メートル、そして、一般県道舟志宮原線、これが9,343メートルと2カ所不能区間があるわけですよ。これはもう今は、主要地方道厳原豆敷美津島線は、先ほどの議会でも齋藤議員、船越議員からお話しがあったように、市長も御存じだと思いますけど、そのようなわけで、私たちも、市長のどこにもお願いに行き、県のほうにもお願い行って、市長も気持ちよく推進をしていこうということで、お願いして協力してもらいました。まことにありがとうございます。

今後、やっぱり対馬の主要道路として、私は現在の問題じゃないと思うですよ。将来的に考えて、やはり今、佐須坂トンネルもできてますよ。去年貫通しましたですね。あそこができた関係で、厳原から佐須まで行くにはもう十何分で行くわけですよ、小茂田浜までですね。そのような条件が整っておりますので、ぜひ、あそこ今、市道で上槻から椎根まで通っておりますけど、やはり道も狭いし、やっぱり急カーブも多いし、通りにくいわけですよ。その関係で、やっぱりそれをば今の市道ば改良しても、近くはなりません。短縮はできません。それですけど、今の休止をしている、当初は10年間という休止ということでございましたけど、もう今は十二、三年経っておりますけど、ぜひこれを再開に向けて、我々市議会としても頑張りたいと思いますので、今後とも市長の協力をお願いしたいと思います。そうすれば、あそこが通れば、今、椎根まで10キロちょっとあります、距離として。あそこが通れば、5キロで通れるわけです。半分

なるわけですから、時間にしても約5分か10分、10分まではいかんでしょうけど、5分以上はもう短縮されると思いますので、ぜひこれは我々も頑張りますので、市としても、将来のビジョンとして、やっぱり対馬を網羅するためにも必要な道路だと思いますので、そして、やっぱりあそこから来て、小茂田まで来て引き返すんじゃなくて、観光客がですね、大型バスが通って、南の豆殿まで行って、豆殿地区も結構、豆殿崎灯台とか、多久頭魂神社とかいろいろな有名な施設もありますので、ぜひそこまで通して、将来は、今、尾浦浅藻線もそれはもう何十年後になるかわかりませんが、私たちの生きているうちはできんと思いますけど、やっぱり対馬の今後100年後を考えたら必要やと思いますので、ぜひ推し進めてもらいたいと思います。市長の心意気をちょっと。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 私の心意気ということでございますけども、私自身も、このたびの県道佐須トンネルの開通によりまして約17分の短縮ができたということで、かなりの大きな経済効果が上がっているというふうに考えているところでございます。

議員御指摘のこの殿浜工区につきましても、私も実際に現地の方まで出向いてまいりましたが、さすがにトンネルが2本掘れば、5分以上の短縮が可能じゃなかろうかというふうに思います。こういう意味でも、その費用対効果は、かなりの費用対効果が出るのではないかなというふうに考えておりますので、今後とも、期成会も結成されましたことでありますし、期成会の皆様とともに力を合わせながら、辛抱強く、これを県や国に要望を上げてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） ありがとうございます。よろしく願いしときます。

それと、市道の件でございますけど、市道も1級、2級、その他の路線とあるわけですけど、詳しい内容は私もよくわかりませんが、1級は特別に重要な路線と考えます。それで、やっぱり今市道も改良6路線ですかね、改良されておりますけど、これが29年、31年と改良が終わる箇所もあると思います。その関係で、今後の事業として、大型事業で尾浦浅藻線ですね、それと堂坂線ですか、大きな、これが堂坂線は約60億か、尾浦浅藻線も、尾浦と安神だけでも三十何億とかかかるというような計算でございますけど、確かに、これはもう大きな事業で、ここをやりかけたら、なかなかほかのところに予算が回らんというような状況になろうかと思いますが、ぜひこれも必要な道路でございますので進めてもらいたいと思いますが、今既存のやっている路線を早目に投資しても、そこを早く改良して通れるような状況に持って行って、ぜひこの市道路線、堂坂線の改良を進めてもらいたいと思います。どうしても予算がつくわけでございますけど、

やっぱり先ほどの補正を見ましても、大分やっぱり減額されておりますもんね。やっぱり2億近くの減額が、予算規模で減額されております。それであると、やっぱり国・県に独自にでも行ってお願いをするように、国県道特別委員会もありますので、市長部局と合わせながら、ぜひ、もう我々の機関もあと半年余りでございますけど、頑張ってもらいたいと思います。

それと、しいたけの問題ですけど、確かに、市長の言われることはよくわかります。しいたけを生産をふやそうということで、平成18年から取り組まれてきたわけですけど、実際に、駒数がですね、その取り組んでくる姿勢はわかるんですけど、やっぱり高齢者が多くなって、いわばその高齢者がもう対応し切れない状況があるわけですよ。それで、この種駒植菌数にしても、平成24年度が1,548万8,000個、去年は、昨年ちゅうかことしですか、28年度は909万8,000個、約600万個以上も減つとるわけですよ。これは、やっぱり一つは高齢者のために、やっぱり体がついていかんとかそういうような状況があると思います。それで、市長が言われますけど、4万個以下は補助金が出ないということは、1万個以上は食用じゃないですよ。これはやっぱり少しでも入れて、家計のために仕事いうて入れとるわけですよ。二、三千やったら食用でいいかもしれないです。1万個以上は食べ切れません。ぜひこれは、市の税金ですけど、お互いに公平な立場をもって、やっぱ1万個以上打つ人たちにはやってもいいじゃないですか。年間幾らですか。去年のあれでは50万かそこらですよ。50万個やったら1円やっても50万じゃないですか。それを100万にしても100万円じゃないですか。それはもう税の平等性を考えたら、公平公正の立場になったら、せめてもう1万個以上にはやると、そしてまた、それ以上、10万個以上、4万個以上やる人たちには、まだ補助制度を拡充してもいいじゃないですか。そうすれば、やっぱり生産者の手取りもよくなるし、今しいたけも、今年度から、去年ごろから上がっております。もう平均で5,000円ぐらいことしは行くような状況でございますので、ぜひやっぱり高齢者にも喜ばして、市長、どうですか。ぜひそれは、もう今年度も補正でも何でもいいけんが、ぜひやってくださいよ。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 平成27年度の実績で見えますと、議員さんおっしゃられるように、4万個未満は約53万個ぐらいございます。そういう面で、今おっしゃられるように、これをするのはいいんですけど、ただ、ここら辺のじゃあ何万個を境にするかというところを、しいたけ振興部会あたりと今後しっかり協議を重ねてまいりたいというふうに思います。

そして、要は、このしいたけの補助金も、あくまでもその目的がしいたけの振興拡大という大きな目的がございますので、これに沿うような形で協議を重ねていきたいというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） その基本はわかるわけですよ。私もしいたけ部会に入ってますけんですね。

しかし、確かに、それである大手の業者も入って、やっぱり一生懸命頑張ってくれております。そやけん幾らかふえるかと思っても、なかなか若い生産者が育たないもんですから、かえってもう尻すぼみになりようわけですよ。それだから、やっぱり基本はわかりますよ。わかりますけんが、それはそれで進めてもらえばいいと思いますけど、私は1万個以上、それは協議会があるとありますけん、そこに上げて、ぜひそのような方向で、市民は平等だということば示してください。そして、私は1万個と言いますけど、1万個を基本としてそれだけはしてやってもいいと思いますので、よろしく願いをしておきます。

それと、農援隊の問題ですね。確かに、今まで市長が、副市长、前にも農林水産部長のときからだと思えますけど、内容は一番詳しいと思えますけど、農援隊も、確かに農家のためになつとうと思えますよ。やはり今は、各集落にもう若手がおらないという兼ね合い、人夫を雇おうにもおらんとですよ、実際問題として。それはもう6,000円、7,000円出してもいいんですけど、実際に雇う人たちがおらん。それで困つとるわけですよ。そういう状況やとですよ。そやけん、ぜひ、市の負担も幾らかかかると思えますけど、これはいつかの新聞に載ってましたけど、JA島原ですかね。JA島原の農協は、売り上げもあそこは対馬市と比べたらもう何十倍もいいわけですけど、農家の作業支援隊などの活躍によって、生産量も上がるし、高齢化の労力不足にも、加勢にはなるですね、そういうような関係で、島原半島に30名おるらしいです、農援隊が。それで、総体的に生産をして、JAが、それで赤字、赤字、もう赤字やことはわかるんで、補填を3市あるけんが、約3市で1,000万ずつぐらいしてやりよっちゃないですか。そして、生産意欲を上げさせて、高齢者に支援をして、生産が上がれば、市民の所得も上がるわけですけど、ぜひその農援隊制度も今後、今どうのこうのは難しいでしょうけど、今後はやっぱり図っていかねばならんじゃなかろうかと私は思えますけど。雇うにしても、今、労力が少ない関係でおらんとですよ、実際の話。そこば何かあれば。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 労働力の問題につきましては、農林業のほうだけじゃなくて、水産業においても労働力不足ということで、外国からの労働力を求めるというような動きも出ているような現況でございます。そういう中で、じゃあどうしていくのかということろをいろいろ県とか、担当部のほうで協議が重ねられているところでございますが、できる限り、新規就業等の補助事業等を重ね合わせながら、何らかの対策ができないかということで、前向きに検討をしてみたいというふうに考えます。

○議長（堀江 政武君） 14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） どうもありがとうございます。ぜひ、この問題は、今、昨年度、農協さんが2名ほど雇っておりますけど、農協の負担も結構あるとですよ。約、昨年の実績で六百数十万かかって、地元負担が約150万、あとの負担は、450万ぐらいは農協が負担してるわけですね。それだけしてやっぱり農協も生産者のためになろうとしておりますので、ぜひ、市も見過ごすわけにはいきませんけんが、よく検討をして今後はやってもらいたいと思います。

もう時間も大分経過しましたので、もう私の質問はこれで終わりたいと思います。どうか、市長の前向きな答弁をいただきまして、ありがとうございます。

なお、私も通告にはちょっと載せたんですけど、同僚議員が、上野議員が副市長問題はあした取り上げると思いますので、市長も、私も見て公務が大変だと思います。副市長も1人ではちょっと厳しいかなというような感じを持っておりますので、ぜひ今後は、上野議員のあした質問があると思いますので、そこはよろしく、もう上野議員に任せておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。健康には十分留意され、対馬市のかじ取り番として一生懸命に頑張ってもらいたいと思います。

以上で、私の質問を終わります。どうもありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで、初村久藏君の質問は終わりました。

.....
○議長（堀江 政武君） 暫時休憩します。再開は2時からとします。

午後1時45分休憩

.....
午後1時59分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） 清風会の船越洋一でございます。通告に従いまして、大きくは3点について市長にお伺いをいたします。

まず1点目は、木質バイオマス発電事業についてであります。島内の85%が山林である対馬で、木材を燃料とした木質バイオマス発電は、理にかなった事業だと思います。市長にも話が入っているとは思いますが、九州電力の関連会社である九電みらいエナジーが長崎県で初めて木質バイオマス発電に取り組もうとされております。この事業は、長崎県の離島、壱岐・五島では到底できない事業だと思います。離島というハンデである中で、企業誘致は大変困難な現状で、この事業を誘致することにより、間伐材、雑木等を有効に活用でき、林業の活性化、雇用の拡大、消費等にも経済効果が大きいと思いますが、市長の考えをお伺いをいたします。

次に、2点目であります。旧中対馬病院跡地利用についてであります。この件については、